

菅茶山 顕彰会 会報

第 6 号

発 行

菅茶山先生
遺芳顕彰会
1993年11月17日

開館一周年を迎えた

菅茶山記念館



菅茶山記念館館長 昼田純一

菅茶山記念館活動にご協力を

- ◎ 開館時間…………… 午前9時～午後4時30分
- ◎ 休館日…………… 月・火曜日
(ただし11月23日の祝日は開館、11月24日は休館です。)
- ◎ 入場料…………… 一般 300円 中・高生 100円

街路樹の木々も黄葉に変わり、秋晴れの夕空にひときわ映えて、秋も終わろうとしています。

顕彰会員の皆様、ご健康でご活躍のこととお慶び申し上げます。私こと今年五月より菅茶山記念館へ勤務しております昼田です。どうか、よろしくお願い致します。

会員の皆様方には、いち早く郷土が生んだ漢学者・菅茶山先生の遺徳に共鳴され、二百有余名の会員で以って菅茶山先生の顕彰事業に取り組まれていると承り、館長といたしまして衷心より厚く御礼申し上げます。

当館も開館一周年を迎え、ようやく軌道に乗れたところでありますが、今までの事業の内訳は次のとおりです。

- 「収蔵作品展Ⅰ」 一九九二年十一月三日～十二月二八日
- 「春をうたう」 一九九三年 一月六日～三月二九日
- 「新緑のころ」 三月三十一日～六月二七日
- 「梅雨あけて」 六月二九日～九月二七日
- 「第一回特別展」菅茶山が交わった 九月二九日～十一月七日
画人たち

そして、学習会として五月から毎月第二土曜日に受講生三十八名で「菅茶山を読む会」を菅波寛先生を講師に実施しております。

また、ご承知のとおり、顕彰会は「茶山ボエム絵画展」を菅茶山記念館と企画され、難しい漢詩を現代訳され、子ども達に親しんでもらおうとそのイメージを絵画にしてみました。その効あつてか、多数の応募があり関係者一同大変喜んでおります。この作品展は当館で展示し一般公開致します。

今後記念館としても、菅茶山先生をより身近かな人としてとらえるための展示と、それを基盤とした文化の創造に一段と努力していきたいと思っておりますので、会員の皆様方の一層のご指導ご協力をお願い致します。